

第25回地球環境大賞（グランプリ）を初受賞
～二子玉川ライズにおける生態系保全などの環境配慮型の街づくりが評価～

東京急行電鉄株式会社

当社は、2015年にグランドオープンした二子玉川ライズにおけるコンパクトな複合機能都市の形成や生態系保全、エネルギー資源の高効率化などの環境配慮型の街づくりが評価され、第25回地球環境大賞※(グランプリ)を初めて受賞しました。なお、当社は第18回地球環境大賞で国土交通大臣賞、第12回地球環境大賞で環境大臣賞を受賞しています。

二子玉川ライズは、地元での検討開始から33年を経て完成した再開発事業です。東京急行電鉄は、再開発組合の組合員として参画し、世田谷区や、東急不動産をはじめとする他の地権者とともに、“水と緑と光の豊かな自然環境と調和した街づくり”を目指してきました。

2015年11月に、二子玉川ライズは世界的な環境認証評価 LEED※の「まちづくり部門」で世界初のゴールド認証を取得しました。商業・オフィス・公共施設・住宅を集積させ、さまざまな年代の人々が多様な目的で集う高密度でコンパクトな複合機能都市の形成、生物多様性を評価する「JHEP 認証」で最高ランク AAA を取得した生態系保全(全敷地面積に対する緑地率を40%以上とし、植生の95%以上を在来種から構成することにより、地域の生態系の保全や多摩川の原風景を再現)、インフラや建物におけるエネルギー資源の高効率化などの環境配慮(太陽光などの再生可能エネルギーや省エネ機器の採用、高反射塗料による路面の蓄熱抑制、外気導入の際の地中熱を利用した予冷・予熱、自然換気等)が、総合的に評価されたものです。

また、二子玉川駅から二子玉川ライズを経て、二子玉川公園、多摩川河川敷まで一本の歩行者専用通路でつないでおり、安全でストレスフリーな歩行者空間を提供しています。これは過度に自動車に依存しない公共交通志向型開発の先進事例ともいえる取り組みとなります。

二子玉川エリアは、古くから風光明媚な景勝地、リゾート地として愛されてきました。豊かな自然と調和する持続可能な街、職・住・商・遊の集積を実現する街、回遊性やアクセス利便性が高い街となっており、さらなる人々の賑わいが創出されています。

当社は、この環境配慮型の街づくりへの貢献を生かし、今後もさまざまな開発フィールドで、「美しい生活環境の創造」を実現することで、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

※「地球環境大賞」は、1992年、「産業の発展と地球環境との共生」を目指し、公益財団法人世界自然保護基金(WWF)ジャパンの特別協力を得て創設され、環境保全に貢献する企業、団体等を対象とする顕彰制度です。本制度は地球温暖化防止や循環型社会の実現に寄与する新技術・新製品の開発、環境保全活動・事業の促進や、21世紀の社会システムの探求、地球環境に対する保全意識の一段の向上を目的とし、フジサンケイグループが主催、経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、一般社団法人日本経済団体連合会が後援しています。「地球環境大賞」の授賞式は2016年4月18日(月)に東京・元赤坂の明治記念館にて執り行われる予定です。

※LEED「まちづくり部門」でのゴールド認証取得の詳細は別紙の通りです。

以上

【別紙】

■二子玉川ライズの LEED による評価

二子玉川ライズは、多摩川や国分寺崖線に近接する自然豊かな環境に恵まれていることに加え、主に、以下の取り組みにより評価を受けました。

- ① 田園都市線、大井町線、各種バスとの良好な交通アクセス網を確保していること
- ② 安全で快適な歩行者空間(リボンストリート)を形成し、高密度でコンパクトな開発をしていること
- ③ 商業、オフィス、公共施設や多くの住戸パターンを持つ住宅を集積させ、さまざまな年代の人々が多様な目的で集う、複合機能都市を整備していること
- ④ 生物多様性を評価する「JHEP 認証」で最高ランク AAA を取得するなど生態系の保全に取り組んでいること
- ⑤ インフラ整備や建物において資源の保全やエネルギーの高効率化などの環境配慮に取り組んでいること
- ⑥ 二子玉川ライズ・タワーオフィスにおいて、2015年8月に「LEED NC(新築ビル部門)」において、国内4例目となるゴールド認証を取得していること

■LEED 認証

LEED (Leadership in Energy and Environmental Design) とは、米国グリーンビルディング協会が所管する環境性能評価指標のことであり、エネルギー効率にすぐれ、持続可能な建築物を普及することを目的としています。現在、実質的な世界標準となっており、日本でも取得の動きが活発化しています。

LEED には、全部で9つの評価分野があり、その中で、「まちづくり部門」は2009年から、街区の都市計画・開発の環境配慮基準を評価する制度として運用がはじまり、以下3つの指標の合計値にて評価が受けられます。

① 立地条件

評価項目例：多様な生態系の保全と復元、公共交通機関の利用が可能な立地選択

② コミュニティデザイン

評価項目例：多様な用途とコミュニティデザイン、コンパクトで街歩きの楽しめる洗練された街区

③ 環境配慮型建築

評価項目例：建築物の省エネルギー化、人体や環境への影響配慮

■LEED まちづくり部門認証範囲

●二子玉川ライズ・第2期事業

・II -a 街区

●二子玉川ライズ・第1期事業

・I -a 街区、I -b街区、鉄道街区、II -b街区、III街区

●世田谷区立二子玉川公園

※上記公園は二子玉川ライズに属していませんが、世田谷区の賛同を得て、認証範囲に含めております。

■認証範囲図

